

平成 30 年度

施 政 方 針

平成 30 年 2 月 21 日

富津市長 高橋 恭市

施政方針

(はじめに)

本日ここに、平成30年3月富津市議会定例会を招集し、平成30年度予算案をはじめ、各議案の御審議をお願いするに当たり、市政運営の基本となる考え方を申し上げ、市民の皆さん並びに議員各位の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

市長に就任して以来、私は、皆さんの声をしっかり聴くことが重要であるとの思いから、市民、市議会議員、各種団体の方々などから、様々な場で御意見をお伺いしております。

昨年7月からは、「ふれあい座談会」として、市民の皆さんが開催する集会に私が直接伺い、膝を交え意見を交わしています。1回目のふれあい座談会で、子育て中のお母さんたちから「市役所内に気軽に集まれる場所があるといいよね。」との意見があり、市役所内の和室に親子集いの場、「なかよし」を開設しました。座談会に参加したお母さんや職員が、幼児用のいすやおもちゃを持ち寄り、利用環境を少しずつ整え、利用者も徐々に増えてまいりました。

この部屋に、遊びに来たお母さんたちに、何でも自由に書き込んでいただくため用意したノートには、この小さな取組に対する感謝の言葉をいくつか頂いております。このことは、小さなことでも少しずつ変えていくことで、市民の皆さんの声に、少しでも応えることができるということを表しています。そして、このような想いを市役所全体で共有することが市政を一步一步前進させる原動力になるものと考えております。

また、新富の富津地区工業用地には、世界有数の火力発電所や産業機械メーカーなど多くの企業が進出し、さらに、近隣市にも大規模な製鐵所及びその関連企業が操業しております。これらの企業では、多くの雇用の場を提供していますが、富津市をはじめとして地元の子の採用はまだまだ少ないのではないかと考えております。

地元採用を増やすには、企業の求める人材を育成する必要があると考え、ご賛同いただいた市議会や区長会、関係企業等の方々とともに、千葉県に対し、天羽高等学校への工業系学科の設置を要望いたしました。

昨年12月に、千葉県が公表した「県立学校改革推進プラン」では、平成32年度に、県立天羽高等学校に工業基礎コースを設置するとされており、地元の雇用拡大、

ひいては、まち・ひと・しごとの創生につながるものと期待しております。

市民の皆さんと市と一緒に考え創り上げた、「富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を引き継ぎ、磨き上げ、活力あふれるまちづくりに全力で取り組んでまいります。

それでは、平成30年度施政方針について申し上げます。

（平成30年度予算編成）

平成30年度の予算は、富津市経営改革プランを着実に実行し、持続可能な行政経営の実現に向け、引き続き経営改革に取り組むとともに、まち・ひと・しごとの創生による活力あるまちづくりのための施策の更なる充実を図るべく、編成に取り組んだところであります。

具体的には、子育て世帯への支援や子育て環境の一層の充実、市内産業の育成や振興、道路・公園施設などの整備や長寿命化、小中学校再配置関連の事業費などを計上したところであります。

一般会計は173億円で、対前年度比2.9パーセントの増となったほか、国民健康保険事業特別会計は62億5,000万円、後期高齢者医療特別会計は6億300万円、介護保険事業特別会計は48億9,400万円、水道事業会計は42億7,100万円、温泉供給事業特別会計は340万円、全会計の総額は333億2,140万円で対前年度比3.5パーセントの増となったところであります。

「ひとの創生」

私は、まち、ひと、しごとの創生のうち、まず、ひとの創生があり、まちの創生、しごとの創生へとつながると考え、市政運営に取り組んでまいりました。そこで最初に、ひとの創生につきまして述べさせていただきます。

始めに、子育てしやすいまちについて申し上げます。

子育てしやすいまち日本一を実現するため、安心して子育てができ、子どもたちの笑顔があふれ、子育てが喜びとして感じられるまちづくりを目指してまいります。

富津市人口ビジョン2040では、富津市の未婚率が高いことが、合計特殊出生率の低さの大きな要因と捉えているところです。

そこで、結婚を希望される男女の出会いの場を提供する企業や団体に対して、そ

の費用を助成します。また、引き続き、結婚相談所を開設し、結婚の機会を望む人たちへの支援を行います。

不妊に悩み治療を受ける方々に対して、特定不妊治療費の助成を行い、経済的負担の軽減を図ります。

母子の健康の保持、増進、健全な発育を支援するため、乳幼児健診や母子相談、妊婦乳児健康診査などを実施し、きめ細かなサービスを提供していきます。

また、産後、退院直後の母子に対して、新たに医療機関による心身のケアや育児のサポートなど、産後ケアサービスを開始し、安心して子育てが出来る支援体制を確保します。

乳幼児と保護者が絵本を通じて心のふれあいを深めるきっかけをつくるため、4か月児健診等の機会に市民ボランティアによる読み聞かせと絵本を提供する、ブックスタート事業を引き続き実施します。

子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援することを目的とし、地域子育て支援センター、病後児保育の機能を有する（仮称）地域交流支援センターの設置を推進します。

（仮称）地域交流支援センターは、子育て世代と地域の高齢者や学生などの多様な世代との交流の場としても活用してまいります。

地域における子育て支援の輪を広げるため、新たにファミリーサポートセンターの会員になった子育て世帯に対し、利用料を助成します。

乳幼児を抱える家族が安心して外出できる環境づくりを推進するため、店舗等にある授乳やおむつ替えのスペースを「赤ちゃん休憩室」に認定し、「登録ステッカー」を交付します。また、「赤ちゃん休憩室」を新たに設置する事業者に対して補助金を交付します。

乳児世帯の経済的負担の軽減を図るため、子どもが生まれた世帯に、紙おむつを処分するための市指定ごみ袋を配布します。

複雑化する保育を取り巻く環境に対応するため、保育士支援アドバイザーを新たに配置し、保育所を巡回させ、経験年数の短い保育士等を対象に、助言、指導等を行い、保育士のスキルアップ及び離職防止に努め、保育の質の向上を図ってまいります。

次に、子どもたちの教育環境の整備につきましては、心身ともに健康で確かな学

力を身につけた、「富津を愛し、富津の未来を託せる児童・生徒の育成」のため、知・徳・体の調和がとれたきめ細かな教育を推進します。

授業でのつまずきの解消や学習に対する意欲の向上を目指し、放課後学習教室を開設し、引き続き、その成果と課題を検証してまいります。

平成32年度から小学校において、英語教育が全面実施されます。その円滑な移行を図るため、今年度から児童が楽しみながら英語を身につけられるように、デジタルコンテンツを使用した新教材を導入します。

さらに、学校施設の整備につきましては、老朽化した天羽中学校校舎の改築に向けた既存校舎の解体工事等を実施します。

昨年、市民ボランティアの提案と協力により中央公民館の図書室・閲覧室に設置された、本の読み聞かせなどを行う子どもの遊び場について、より利用しやすい環境整備を図ってまいります。

次に、「健康都市 富津市」の実現について申し上げます。

生涯を通じ、いつまでも住み慣れた地域で、からだも心も元気に、いきいきと暮らし続けることは、私たちにとって最大の目標であり、喜びであります。

平均寿命が延びる中、適度な運動の奨励、バランスのとれた食事、自分の健康に対する意識を高めることを通じて、健康寿命を延ばすことが重要であると考えます。

市民の皆さんの健康を守るため、特定健康診査、保健指導の充実を図り、生活習慣病の発症や重症化の予防に努めます。さらに、生活様式の変化により生活習慣病の若年化が進んでいるため、18歳から39歳までの方を対象とした若年健康診査を引き続き実施します。

がん検診につきましては、早期発見、早期治療につなげるため、受診の勧奨通知の対象年齢を拡大して送付し、受診率の向上を図ってまいります。特に子宮頸がん検診及び乳がん検診につきましては、特定の年齢に達した方に対し引き続き無料で実施します。

さらに、いつまでも自分の歯で食べられる喜びを保つため、成人歯科健康診査を引き続き実施します。

市民が健康な生活を送るうえで、地域における医療体制の充実は、必要不可欠であります。市民が安心して医療が受けられるよう、夜間及び休日の診療体制を維持してまいります。

地域医療の核である君津中央病院企業団の運営に必要な経費を負担し、地域医療の充実を図ります。

「まちの創生」

次に、まちの創生について、申し上げます。

富津市が持っている、他の自治体に負けない豊かな資源を様々な形で発信し続けることで、より一層多くの人に集っていただけるような、人に優しい、魅力あふれる「ふるさと富津市」のまちづくりを行ってまいります。

始めに、市民の移動手段を確保し、生活利便性の維持・向上を図るため、富津市地域公共交通網形成計画に基づき、地域特性に応じた移動手段の導入を検討し、公共交通を必要とする人のための、持続可能な公共交通網の形成を目指します。

また、青堀駅をより利用しやすくするため、バリアフリー化詳細設計を実施します。

(仮称) 浅間山バスストップ及び駐車場については、館山自動車道の4車線化に合わせ着実に整備してまいります。これにより、市民の東京、千葉、横浜方面へのアクセスが飛躍的に向上するものと考えております。

消防体制につきましては、消防団員の確保や車両・施設等の整備を図り、消防活動に関する訓練や研修を通じて、消防職団員の連携を深めます。さらに、消防団と自治会や自主防災組織との連携を強化することにより地域防災力の向上を図ります。

防災対策につきましては、大規模災害に備え、「自助」、「共助」の意識を向上させるため、防災講演会や出前講座、地域の特性に応じた防災訓練を実施し、自主防災組織の設立及び育成を促し、災害に強いまちづくりを目指します。既存木造住宅の地震による被害の軽減を図るため、所有者に対し引き続き無料耐震相談会を実施し、耐震診断や耐震改修の費用を助成します。

交通安全対策につきましては、特に近年、高齢者が関わる交通事故が増加しています。警察署及び関係機関との連携を強化し、高齢者向けの交通安全教室の開催など啓発活動を推進し、交通安全対策に取り組みます。

防犯対策につきましては、特に高齢者の被害が急増している電話 de 詐欺被害や空き巣被害に対して、警察署や自主防犯団体等と連携し、様々な広報啓発活動を行い、市民の防犯意識のさらなる高揚を図り、安全で安心して、暮らせるまちを目指しま

す。

市民参加による活力あるまちづくりを推進するため、市民活動を積極的に支援してまいります。

誰もが安心してボランティアなどの市民活動に参加できるよう、万一事故に遭われた場合の補償を充実します。

また、地域等で行う活動に少しでも役立てていただけるよう、市が所有する机、いす、テントなどの物品を貸し出します。さらに、市民活動への参加機会の拡大と市民活動団体のネットワークを築くため、団体登録制度を整備し、登録団体の情報を積極的に発信していきます。

市民サービスの向上のため、マイナンバーカードを用いた住民票、印鑑登録証明書及び税証明書のコンビニ交付を10月から実施します。

地域おこし協力隊制度を活用し、都市住民を隊員として受け入れ、富津市観光・しごと・移住推進プロジェクトに従事してもらうことにより、移住・定住につなげてまいります。

日本陸上競技連盟公認の市民ふれあい公園陸上競技場につきましては、老朽化が進んでいることから利用環境の改善を図るため、スポーツ振興くじ助成金を活用し、走路の改修やハードル等の備品購入を行います。

平成31年度をもって統合広域化する水道事業、4市で進めている（仮称）木更津市火葬場など、広域連携を進めていくことは、住民サービスを維持しつつ、新しい行政ニーズに対応していくための方法のひとつと考えます。このため、共同処理に向けて関係団体と協議中の事業につきましては、可能なものからスピード感をもって推進してまいります。

「要援護者地域見守り事業」や「高齢者見守り事業」をすすめ、各地区社会福祉協議会や民間事業者等の関係機関と情報を共有し、声かけや安否確認等の見守り支援を行うことにより、高齢者や障がいのある人たちの状況の把握や孤独死防止等、地域で安全で安心して暮らせるよう努めてまいります。

障がい者福祉につきましては、富津市障害者総合支援協議会等の関係団体と連携を図りながら、障がい児者が地域で安心し、充実した生活ができるよう、居宅介護、施設入所支援、児童発達支援、及び放課後等デイサービス事業等の様々な福祉サービスを提供します。

発達障がいの早期発見・早期療育につなげるため、障がい者やその家族などからの相談に応じるほか、臨床心理士や言語聴覚士による保育所や学校等への巡回療育相談等を実施します。さらに、障がい者虐待の防止を図るため、引き続き 365 日 24 時間体制で相談に応じます。

生活の安定と援護につきましては、生活困窮者の生活を保障するとともに、その自立を促進するため、生活困窮者自立相談支援事業を引き続き実施します。

高齢者福祉につきましては、介護保険サービスを充実させるとともに、介護保険給付のより一層の適正化に努めます。また、介護予防・生活支援サービス事業の提供体制の整備、在宅における医療・介護連携の推進及び認知症総合支援事業を実施します。さらに、「富津市いきいき百歳体操」などの介護予防事業、総合的な相談支援業務、権利擁護事業等を地域包括支援センターとの連携を強化するなかで実施し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域包括ケアシステムを推進します。

国民健康保険につきましては、平成 30 年度から千葉県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業の確保等の国保運営に中心的な役割を担います。市といたしましては、引き続き、被保険者の健康を守り、医療費の適正化につながるよう事業の運営に努めてまいります。

後期高齢者医療保険につきましては、短期人間ドック費用助成事業を引き続き実施します。

「しごとの創生」

次に、しごとの創生について申し上げます。

富津市には、新富地区に代表される工業、豊富な資源を有する東京湾が育む水産業、緑豊かな大地が育む農業、豊かな自然とスポーツレジャー施設などを活用した観光業など様々な産業があります。都心から 1 時間というアクセスの良さも富津市の魅力の一つになっていると考えています。

「富津市に来たい」、「富津市で何かしてみたい」、「富津市で生活したい」そんな人々を増やしていきたい。そんな思いでこれらの魅力を磨き上げ、様々な方法により全国に発信してまいります。

始めに、メロンやトマト、アジやアナゴ等の農水産物における富津ブランドの確

立を目指すことにより、地場産業である農業や水産業の活性化を図ってまいります。

ふるさとふつつ応援寄附につきましては、地域経済の振興に大きく貢献しているものと考えています。ふるさとふつつ応援寄附関係者会議がきっかけとなり、事業者同士のコラボ商品などの開発、富津市の特産品であることをPRするステッカーの作成などを行ってまいりました。引き続き返礼品の充実・拡大を図るとともに、生産者の想いやこだわりを全国に広め、富津市の特産品のブランド力を高めてまいります。

農業の振興につきましては、農業従事者の減少や高齢化問題に対応するため、農地の利用集積、集約化の推進、農業機械・施設の導入の支援、次世代を担う青年就農者の経営確立の支援を行ってまいります。

国土保全、水源かん養、自然環境を維持するなど、農業・農村が持つ、いわゆる多面的機能の維持・発揮を図るために、地域の共同活動や生産条件の不利な中山間地域等における農業生産活動を支援します。

有害鳥獣対策につきましては、年間を通した「くくり罠」の設置許可、捕獲檻の増設、侵入防止柵の設置範囲の拡大などにより農林産物の被害防止対策を強化してまいります。

捕獲した有害獣の処分につきましては、地域住民の大きな負担となってきたことから、有害獣処理技術実証実験を行いました。その結果をふまえ施設規模、運営方法、生成物の活用等、処理施設導入について検討してまいります。

水産業の振興につきましては、市営漁港の水産基盤施設機能保全計画に基づき、大貫漁港の機能保全工事の実施設計を行います。

のり養殖で使われる高速浸漬処理船の導入や共同加工施設の整備を行うことで、海苔の品質向上や生産者の労力軽減を図り、経営安定につなげてまいります。

また、魚による食害等に対して一定の効果があつた、防御ネットの導入・設置を引き続き支援してまいります。

干潟の保全など環境・生態系の維持、回復や安心して活動できる海域の監視など、漁業者等が行う地域の活動を支援します。

漁業における生産・流通の効率化及び品質・衛生管理の高度化を図るため、市場機能の集約化を推進します。

商工振興につきましては、中小企業者及び創業者に対して、事業に要する資金を

円滑に調達できるよう、千葉県信用保証協会や市内の取扱金融機関と連携し、運転資金や設備資金の貸付融資及び利子補給を引き続き行います。

また、新たに日本政策金融公庫の小規模事業者経営改善資金融資を受けた事業者に対しても、利子補給制度を導入いたします。

昨年、国の認定を受けた計画に基づく創業支援の取組を、引き続き富津市商工会や千葉県信用保証協会と連携し、進めてまいります。

さらに、富津市商工会の経営指導員や専門家の指導及び支援をいただきながら、事業承継セミナーや育成セミナーなど事業者や後継者への継続的なサポートを行ってまいります。

観光につきましては、本市には、豊かな自然や、おいしい食べ物など多くの観光客が訪れる豊富な資源があります。特に最近では燈籠坂大師の切通しトンネルや金谷のアジフライ、各地にオープンしているカフェなど新たに注目を浴びている観光資源もあります。

また、訪れる観光客の皆さんは地域情報あるいは観光・行楽情報をSNSなどから収集する傾向が強くなっていると感じています。

そこで、観光資源の魅力向上、新たな観光資源の発掘、観光施設の整備、広域連携による観光の促進、観光情報の効果的な発信による誘客など、観光業の活性化につなげてまいります。

(むすび)

以上、私の考え、また、それに基づく施策を申し上げてまいりました。

私は、富津市を市民の皆さんが今以上に誇れるふるさとにしていきたいと思っています。

その目標に向けた歩みの中で、厳しい現実や課題に直面することもあると思います。私は、そこから目を背けることなく、市民の声に真摯に耳を傾け、一日、一日を大切に、強い決意を持って挑戦し続けてまいります。

市民の皆さんから頂く全ての声に対し、100点を頂くことは難しいかもしれませんが、様々なアイデアや努力を積み重ねて、これからも、「市民の皆さんが自信を持って次世代にバトンを渡せる富津市づくり」を念頭に、富津市に住むことに誇りや愛着を持ち、幸せを実感していただけるよう取り組んでまいります。

市民の皆さん並びに議員各位におかれましては、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。